

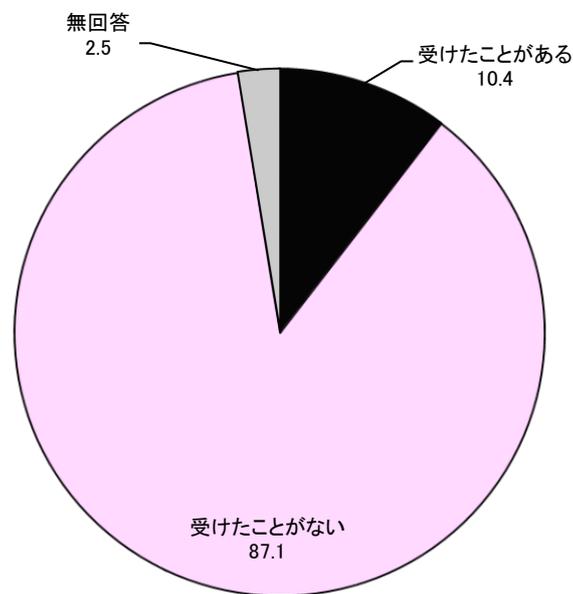
5. ドメスティック・バイオレンス(DV)

(1) 配偶者や交際相手からの暴力の経験

問13 あなたは、配偶者や交際相手から暴力(身体的・精神的・経済的・性的)を受けたことがありますか。

配偶者からの暴力の経験は 40 歳代の女性が 2 割

配偶者や交際相手からの暴力の経験について、「受けたことがない」と回答した割合が 87.1%と8割を超え、「受けたことがある」が 10.4%と1割程度である。



<属性による比較>

【生活圏別】

すべての生活圏で配偶者や交際相手からの暴力を「受けたことがない」が8割を超えており、「受けたことがある」は1割程度である。

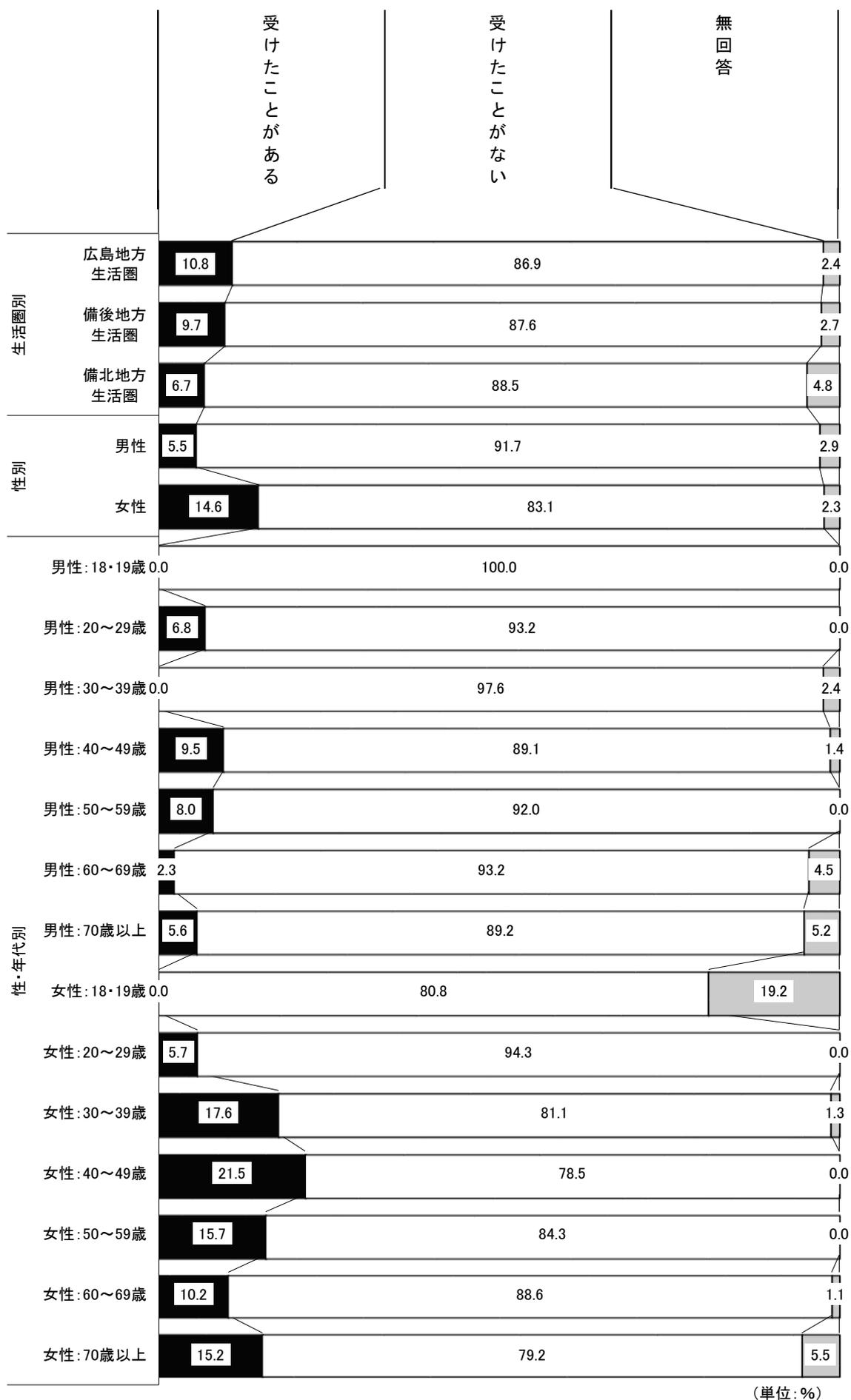
【性別】

女性は配偶者や交際相手からの暴力を「受けたことがある」人が 14.6%と男性(5.5%)と比べて 9.1 ポイント高い。

【年代別】

女性 30 歳代以上は配偶者や交際相手からの暴力を「受けたことがある」割合がやや高く、40 歳代は2割程度を占める。

配偶者や交際相手からの暴力の経験(生活圏, 性, 年代別)



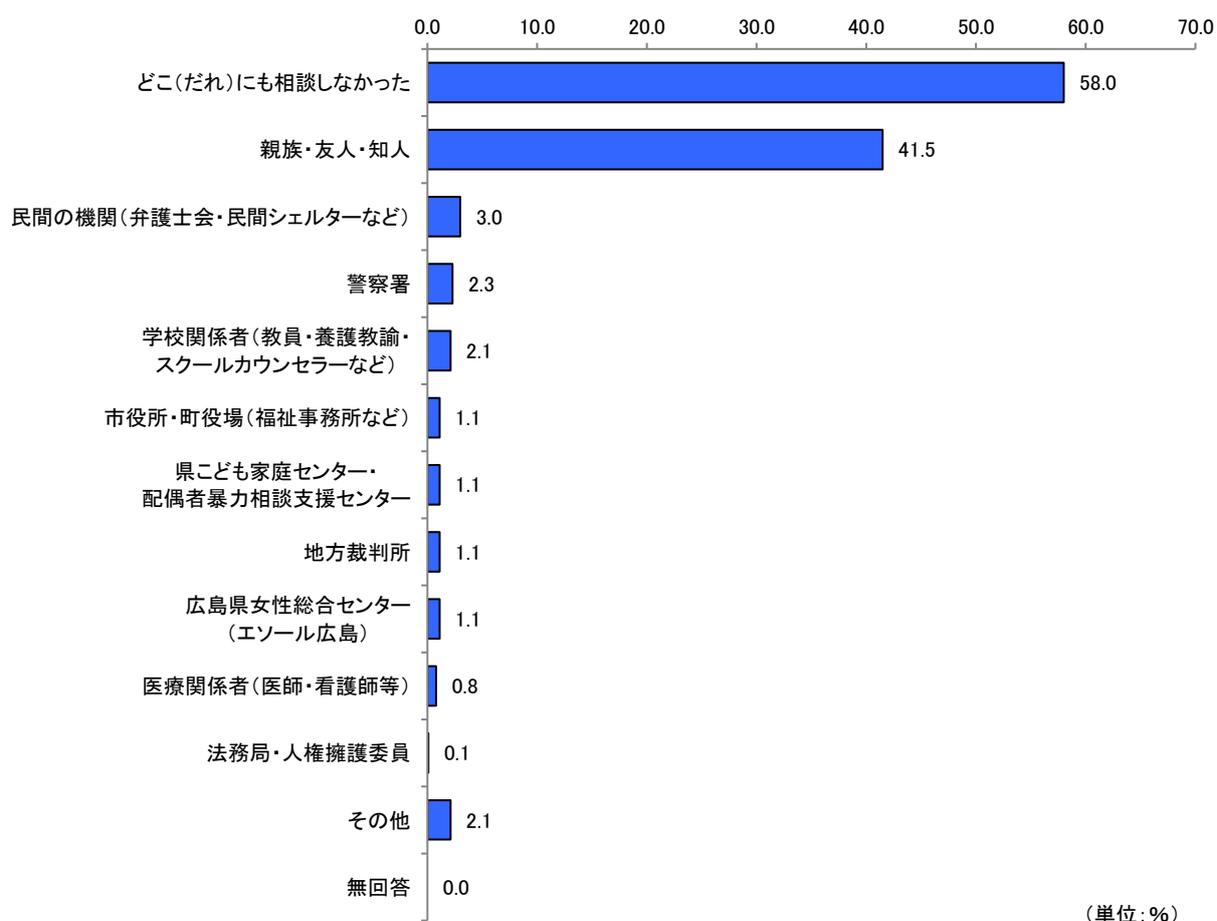
(単位: %)

(2) 配偶者や交際相手からの暴力に対する相談先

問14 問13で「受けたことがある」と回答された方にお伺いします。あなたは、配偶者や交際相手からの暴力について、どこ(だれ)に相談しましたか。次の中からすべて選んでください。(M. A.)

配偶者からの暴力を「相談しなかった」人が約6割

配偶者からの暴力に対する相談先について、「相談しなかった」と回答した割合が58.0%と最も高く、次いで「親族・友人・知人」(41.5%)が4割程度を占める。



<属性による比較>

【生活圏別】

備後地方生活圏は「相談しなかった」(61.1%)が他の生活圏と比べて最も高く、最も低い備北地方生活圏(44.4%)と比べると16.7ポイント上回っている。

【性別】

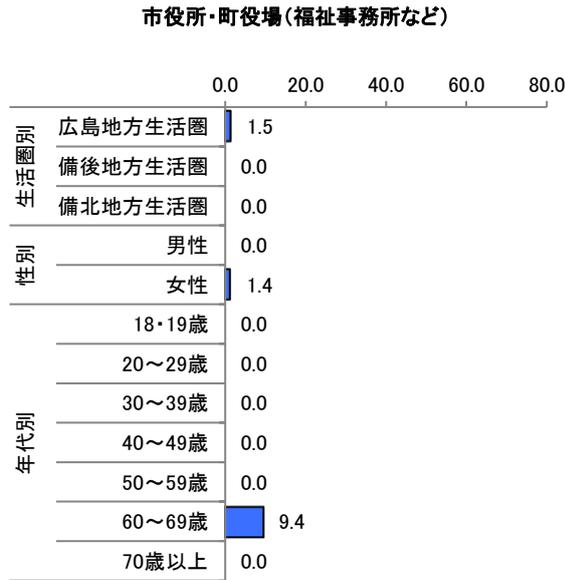
「相談しなかった」は、女性(58.9%)が男性(55.5%)と比べて3.4ポイント高い。

【年代別】

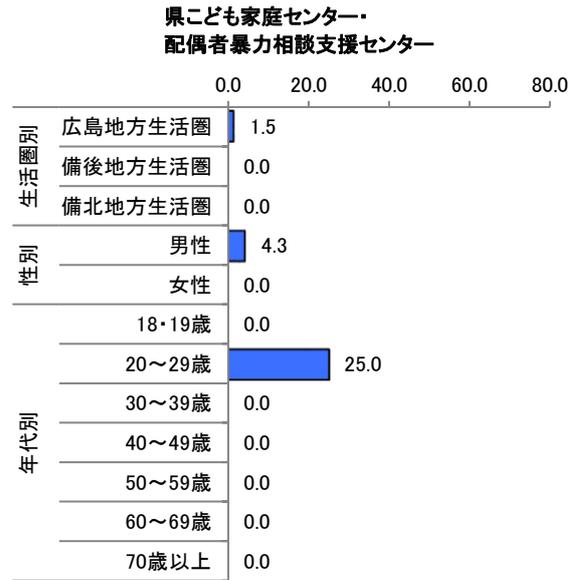
20歳代は「県子ども家庭センター・配偶者暴力相談支援センター」(25.0%), 30歳代は「相談しなかった」(79.9%), 40歳代は「親族・友人・知人」(55.5%), 60歳代は「警察署」(10.4%)が他の年代と比べて高い。

配偶者や交際相手からの暴力についての相談先(生活圏, 性, 年代別)

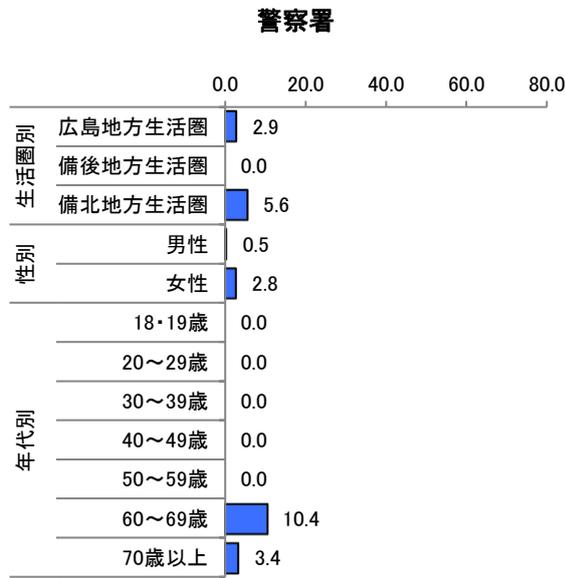
※18・19歳はサンプル数0



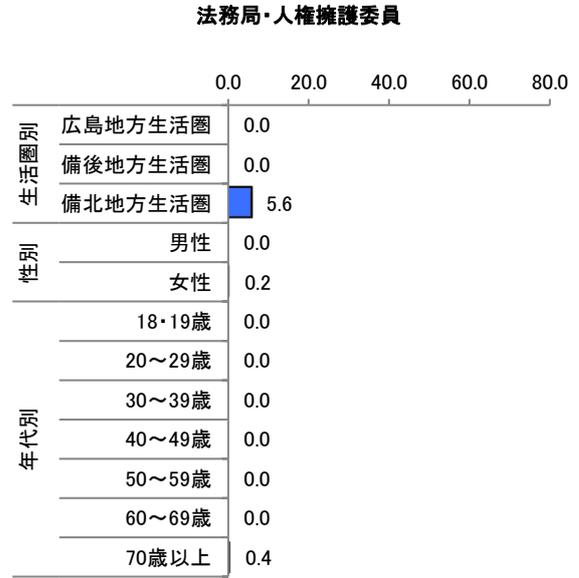
(単位: %)



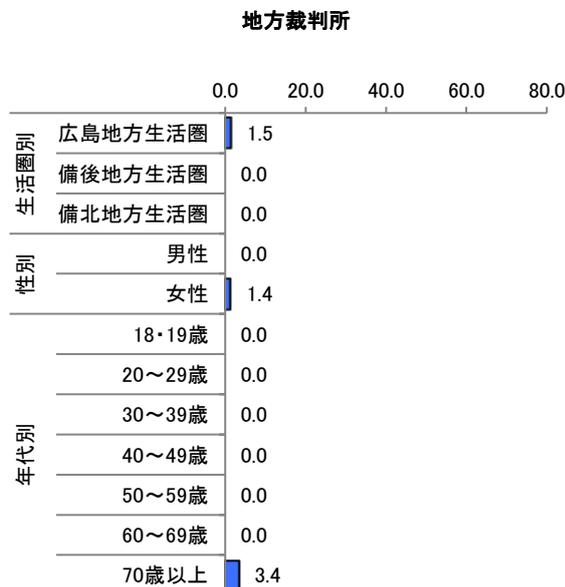
(単位: %)



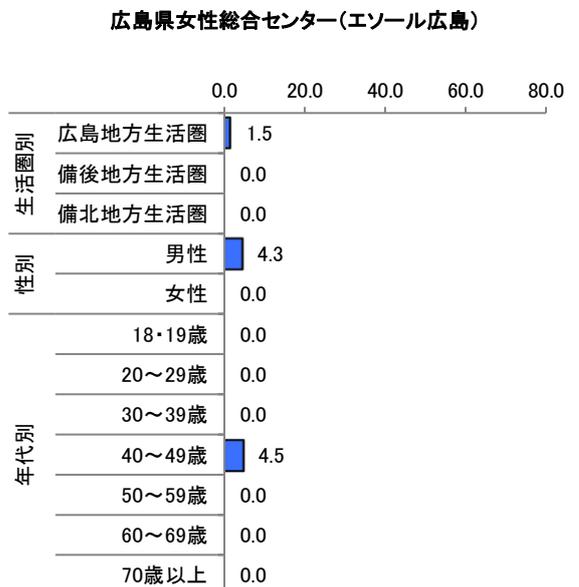
(単位: %)



(単位: %)

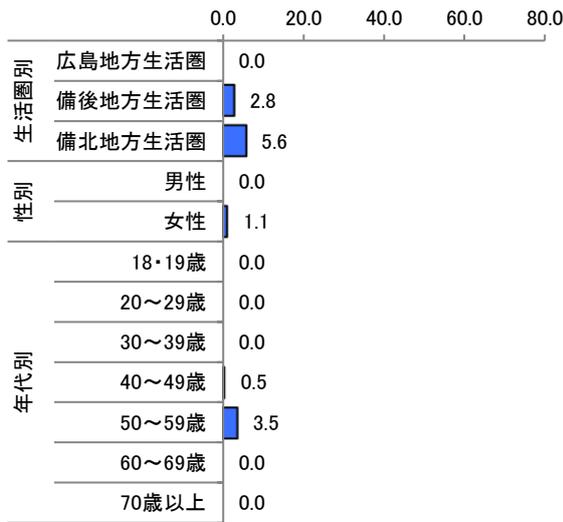


(単位: %)



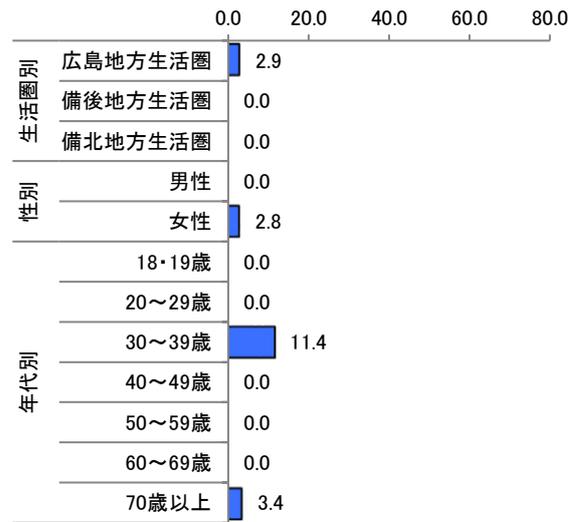
(単位: %)

医療関係者(医師・看護師等)



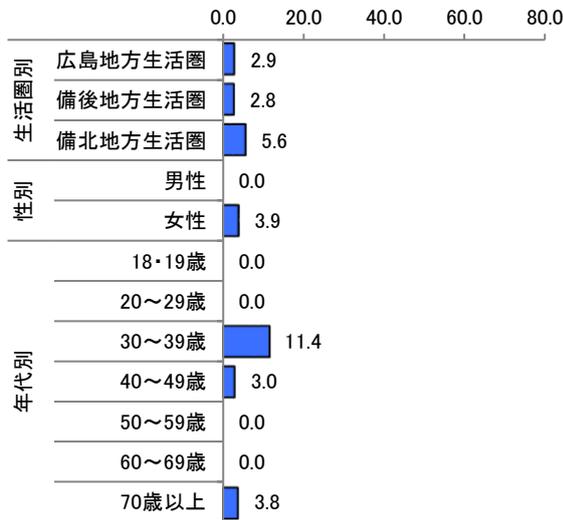
(単位: %)

学校関係者(教員・養護教諭・スクールカウンセラーなど)



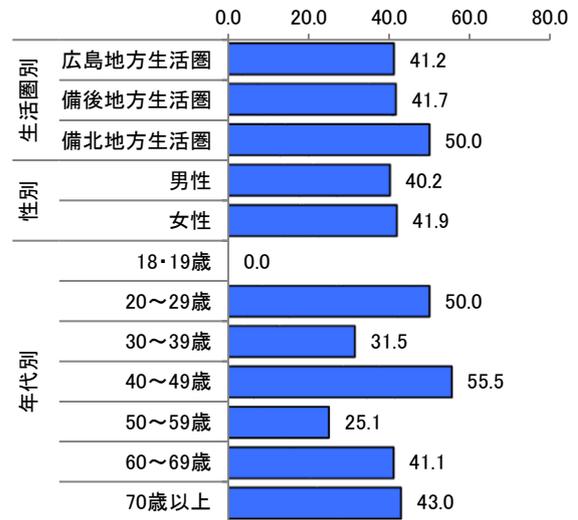
(単位: %)

民間の機関(弁護士会・民間シェルターなど)



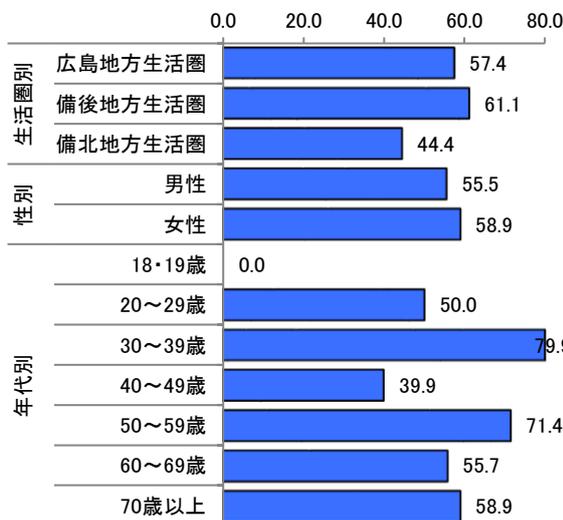
(単位: %)

親族・友人・知人



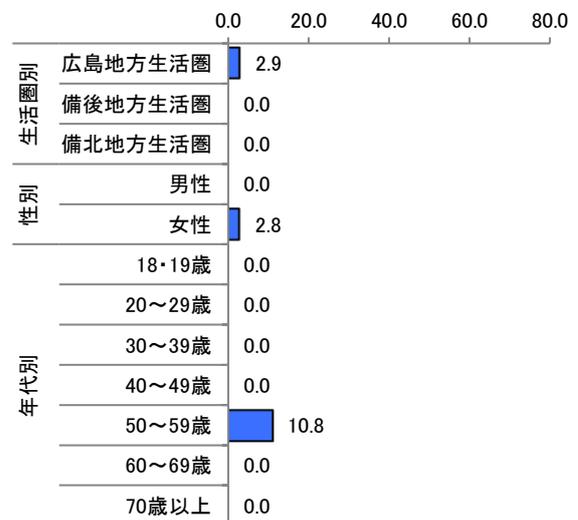
(単位: %)

どこ(だれ)にも相談しなかった



(単位: %)

その他



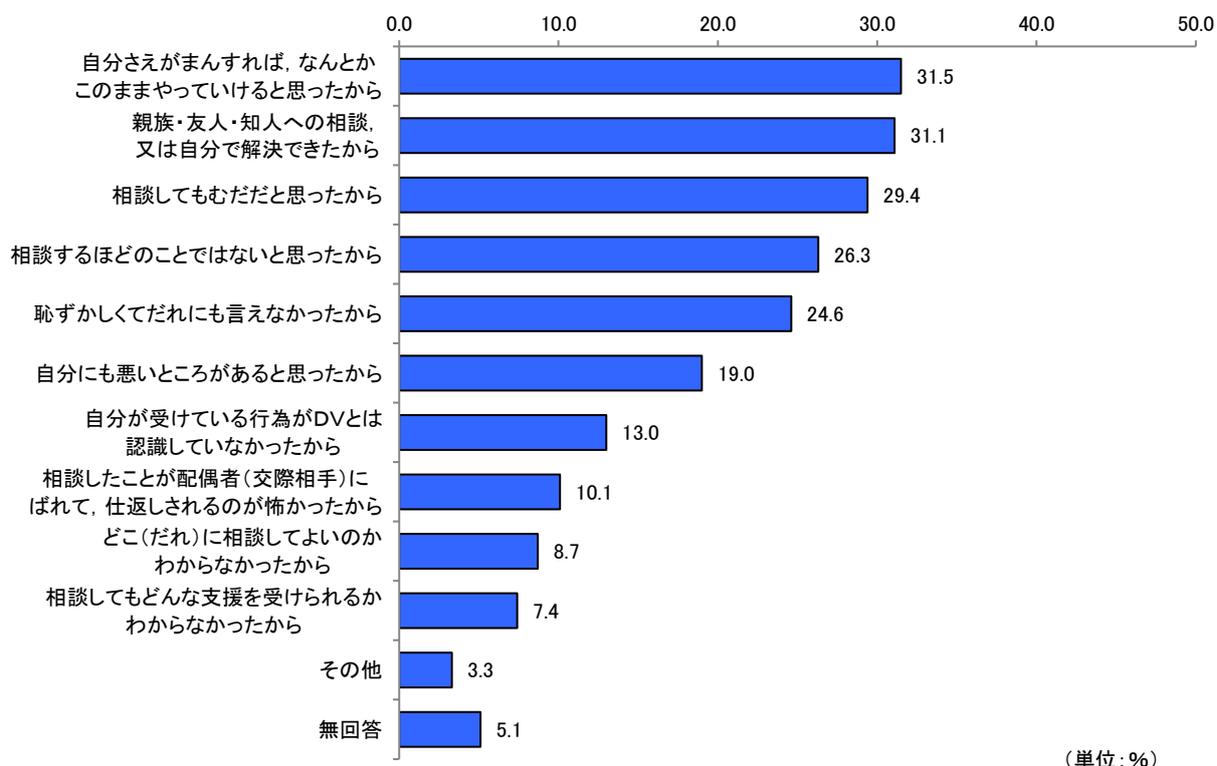
(単位: %)

(3) 公的機関に相談しなかった理由

問15 問14で「親族・友人・知人」または「どこ(だれ)にも相談しなかった」のいずれかのみ回答された方にお伺いします。それはなぜですか。あてはまるものすべてを選んでください。(M. A.)

**「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」
「親族・友人・知人への相談又は自分で解決できたから」
が3割を超える**

公的機関に相談しなかった理由について、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」と回答した割合が31.5%と高く、次いで「親族・友人・知人への相談又は自分で解決できたから」(31.1%)、「相談してもむだだと思ったから」(29.4%)となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

広島地方生活圏は「相談するほどのことではないと思ったから」(29.8%)が他の生活圏と比べて最も高く、最も低い備北地方生活圏(0.0%)と比べると29.8ポイント上回っている。

【性別】

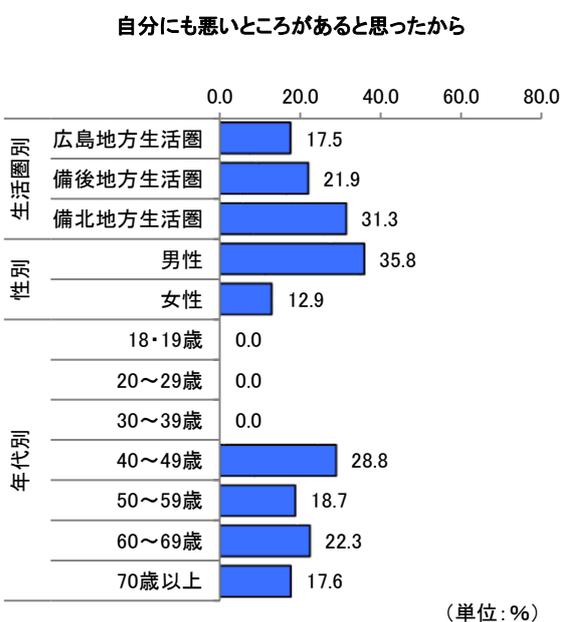
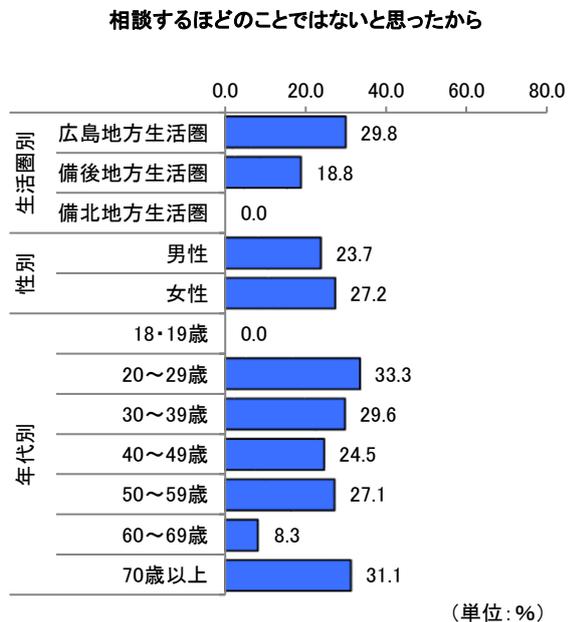
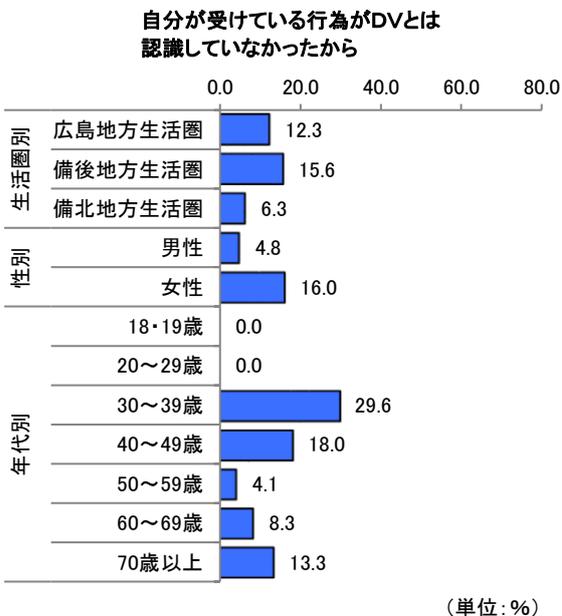
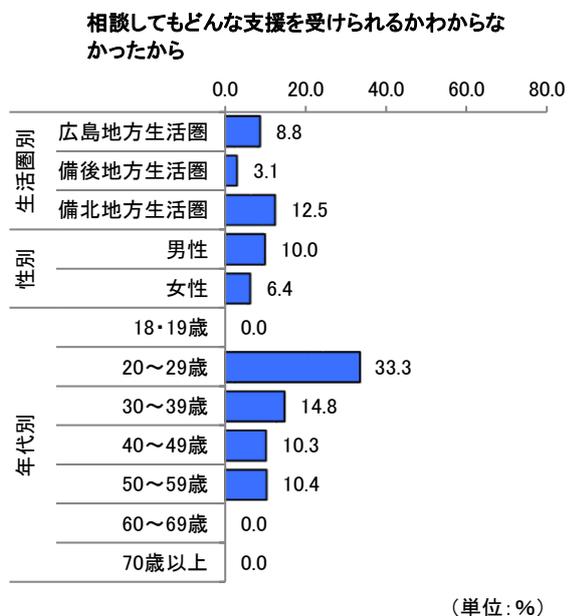
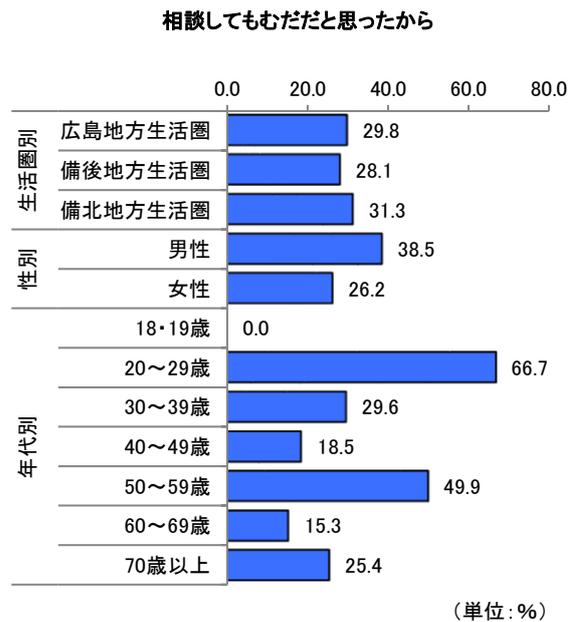
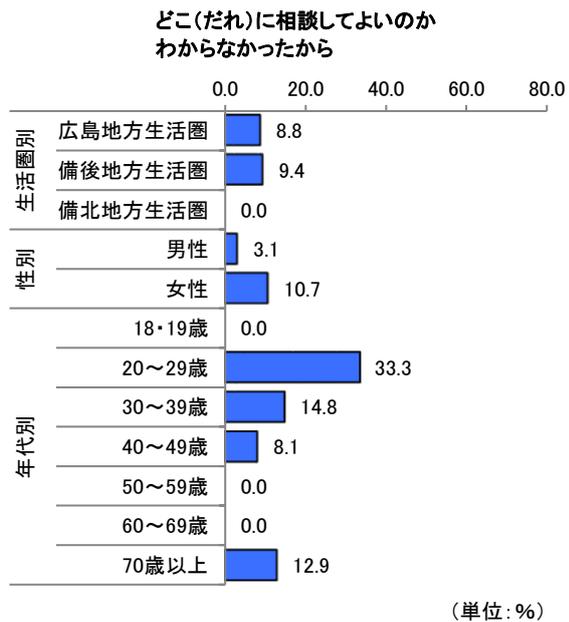
男性は「自分にも悪いところがあると思ったから」(35.8%)が女性(12.9%)と比べて22.9ポイント高く、女性は「親族・友人・知人への相談、又は自分で解決できたから」(36.6%)が男性(15.7%)と比べて20.9ポイント高い。

【年代別】

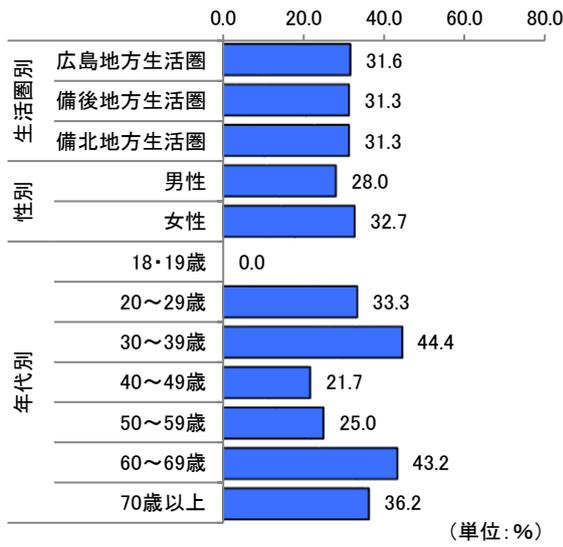
20歳代は「相談してもむだだと思ったから」(66.7%)、30歳代は「相談したことが配偶者(交際相手)にばれて、仕返しされるのが怖かったから」(44.4%)、40歳代は「自分にも悪いところがあると思ったから」(28.8%)、60歳代は「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」(50.1%)が他の年代と比べて高い。

公的機関に相談しなかった理由(生活圏, 性, 年代別)

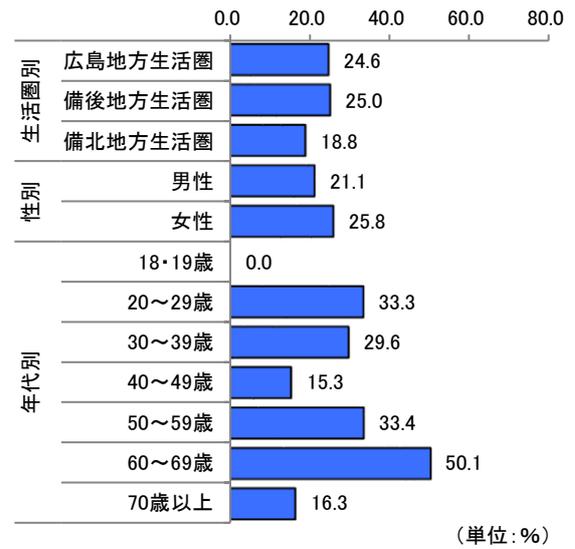
※18・19歳はサンプル数0



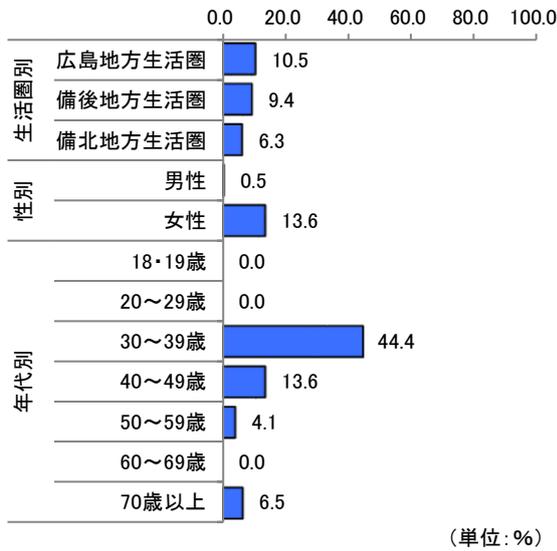
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから



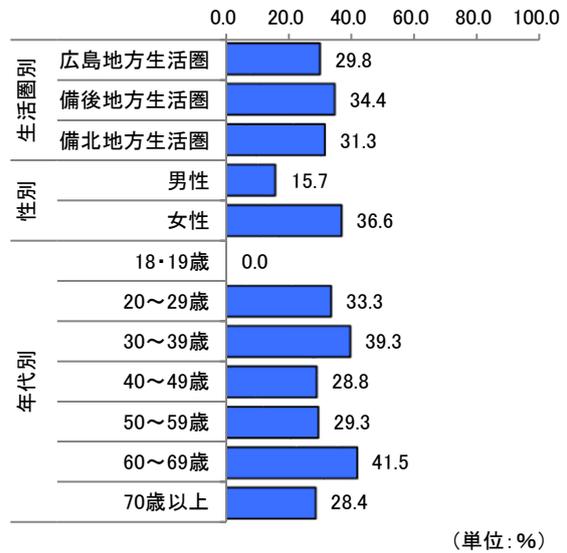
恥ずかしくてだれにも言えなかったから



相談したことが配偶者(交際相手)にばれて、仕返しされるのが怖かったから



親族・友人・知人への相談、又は自分で解決できたから



その他

